



★オレゴンより愛をこめて★

会津喜多方国際交流協会
福島県喜多方市字東町4088-1
TEL (0241) 22-1712

●第29回ウィルソンビル市短期研修報告記●

発行人 会長 佐藤 富次郎
編集 日 米 委員会

団長 金谷 祐昭



はじめに
今年の研修は、合言葉STEP (Smile, Thank you/Try, Eye contact, Please) を軸に、「1」の目標にむき合う11日間」を掲げて実施しました。10月末の第1回オリエンテーションから一貫して、なぜ英語を学ぶのか/どのよう準備するのかを共有し、「遠慮はいらない」「自分のことばで伝える」ことを繰り返して強調してきました。異文化でのホームステイは、すべての生徒にとって初めての体験でしたが、羽田を飛び立った瞬間から、一人ひとりが勇気をもってコンフォートゾーンの外へ踏み出しました。体験の全体像

喜多方市・西四ツ谷観光案内所を出発して約26時間、現地時間12月6日18時にウィルソンビル市へ到着しました。Park & Recreationの建物前

らではの文化も体験できました。最終日の朝、駐車場でホストファミリーと別れるときの名残惜しそうな生徒たちの様子は、関係の深まりを物語っていました。個々の体験と感想は、生徒各自の報告に委ねたいと思います。

分野別ハイライト
(1) 行政・地域
市庁舎ツアーや市長・議員との朝食会を通して、包摂 (Inclusivity) と住民参加 (Community Deliberation) を重視する市の姿勢を実感しました。庁舎の一室に設けられた「Kirkata Room」には、喜多方との交流の歩みを示す写真やモニメントが掲示され、オンライン会議環境も整備されています。来訪者の動線上に姉妹都市の歴史と現在の取り組みを可視化するレイアウトは、市民の関与 (Engagement) を自然に促す工夫だと感じました。市職員の皆様の丁寧で温かなご案内からは、訪問者を歓迎するオープンな姿勢が伝わってきました。そして何より、ウエルカム/フェアウエル両デザイナーの力強く温かいスピーチから、両市の交流を最重要の取り組みとして位置付ける市長の確固たる意志を感じました。限られた財源の中でも関係を紡ぎ直し続ける市長と市役所の姿勢は、私たちにとって地域づくりの貴重な実践知であり、大きな励みとなりました。

(2) 学校・高等教育
Meridian Creek Middle School, Wilsonville High School, Community College, Lewis & Clark College など、授業に参加し、問いを歓迎し、勇気を称えるクラス文化を肌で感じました。生徒たちは、最初は戸惑いながらも、わからないことをその場で確かめる短い質問、相手の質問に答える一言コメントなどを積み重ね、教室の雰囲気徐々に慣れていきました。英語での質問や発表を重ねるうちに、「日本語での発表が以前より楽に感じる」という手応えを得た生徒もいたと思います。

(3) 文化・芸術・市民交流
Portlandでは、World Forestry Center にて森林・木材・地球規模の循環に関する展示を体験し、Art Museum ではアメリカ美術から現代アートまで、日本文化を含む幅広いコレクションに触れました。さらに、体験型アートのスペース Hopscothen は光・音・空間演出のインタラクティブな展示に没入し、米国のアミューズメント感覚を楽しみました。一方、Wilsonville Community Center では、週4回提供されているランチ (Low-cost lunch) に参加し、高齢者や車椅子の方々と同じテーブルで食事をしたのち、ピニングと一緒に楽しみました。参加者の皆さんは生徒たちが話す英語を温かく受け止め、耳を傾けてくださいました。センターが実施する在宅配食 (Home Delivered Meals) についても概要を伺い、地域の食と交流を支える基盤としての役割

割を理解することができました。聴衆の反応からも、内容がしっかりと伝わっていたことがうかがえました。

(1) 笑顔とエネルギー
慣れない環境で疲れがたまるともあつたはずですが、集合が自然に笑顔が広がり、雰囲気も前向きになりました。移動中の車内や待ち時間でも、互いに声をかけ合い、小さな雑談で空気を軽くできたことが、学びへの切り替えを助けてくれました。笑い声の多さは、安心感とチームワークの良さを感じていたと思います。

(2) 時間とルールの遵守
集合時刻や行動ルールをきちんと守れたことで、運営は終始スムーズでした。遅刻や集合忘れが少なく、その分だけ体験の密度が増します。研修期間中は、生徒の自律度は常に高かったです。

(3) プレゼンテーションの上達
ウエルカムデザイナーや市長・議員との朝食会での「喜多方の魅力」発表は、回を重ねるごとに声量・速度・リズム・入替動線が磨かれ、全員の発表が良くなることで、チームとしての完成度が



名札の配布や備品の準備など、「いま自分ができること」を見つけて、先に動く姿勢を大切にしましょう。わからなければすぐ確認し、準備・片付けを効率化して、本質的な体験に時間を回すことが重要です。この習慣は、社会に出てからも大きな力になります。

事後的反省点
(今後の運営改善)
(1) 服装周知
「汚れてもよい服」を事前・前夜に再周知します。

(2) 安全管理
集合・乗降・引き渡し時の人数チェックは常に重要で、特にすべてのホストが到着したことを確認するまで現場を離脱しない運用を徹底します。

(3) 体調ケア
車酔い・水分・休息などをこまめに確認し、よりきめ細かな体調管理を行います。

(4) 税関書類
帰便の機内で配布される税関書類を速やかに入手し、その場での記入を促します。

おわりに
「生徒のみなさんへ」
喜多方に戻り、もうすっかり日常に戻っている頃だと感じます。みなさんは日々の勉強や部活動で大変だとは思いますが、ここで得た勇気・好奇心・思いやりを、自分のペースで学びに生かしてください。

Nozomiさん、単身ホームステイ初挑戦の不安を乗り越え、小学生時代の柔道で培った芯の強さが光りました。よく頑張ったと思います。

Karinさん、絵のセンスが素晴らしい、油絵では最後まで重ね塗りして作品を仕上げる集中力が印象的でした。

Tsugumiさん、いつも明るく場を和ませ、ドーナツやバスケットの話題を楽しく共有してくれました。

Mizukiさん、バスケットで培った切れ味に加え、フェアウエルデザイナーの笛の演奏がとてもカッコよかったです。

Harutoさん、同年代との英語会話を楽しみ、課題に前向きに取り組み姿勢と、友だち思いのお土産選びが素敵でした。

Himeさん、Wilsonville Highでの英語自己紹介は堂々として明瞭でした。質問攻めにも落ち着いて対応できていました。

Sakuさん、Lewis & Clarkでは車酔いから素早く回復しました。元気な様子を感じました。

みなさんと過ごした11日間は、私にとって貴重な経験となりました。これからも、英語のみならず、いろんなことにチャレンジしてください。その勇気を、いつでも応援しています。

生徒たちを温かく見守り、そして後押ししてくださったホストファミリー、ウィルソンビル市職員、現地関係者の皆さまに、心から感謝いたします。最後に、本研修を支えてくださった保護者の皆さま、喜多方市長、教育長、学校長、国際交流協会関係者



た。歌やスピーチでも、いつも前向きに楽しさを表現して盛り上げてくれました。Rikoさん、初海外でも臆せず、普通に会話できていました。フェアウエルの締めスピーチを見事に務めました。

Haruhiさん、ウエルカムデザイナーの自己紹介で話した「I can speak English」は、自信と覚悟のこもった一言でした。頼もしかったです。

Annaさん、常に冷静に対応し、英検2級の力を発揮していました。準1級への挑戦も期待しています。

喜多方市立第一中学校 一年 遠藤 のぞみ



私がウィルソンビルで心に残ったことは、中学校や高校に行ったことです。日本の学校では授業中は飲み物や食べ物の飲食は禁止されていて、勝手に立ち上がるのもだめですが、ウィルソンビルの学校ではそれらが禁止されていませんでした。ガムを食べたり、水を飲んだりしていてもおどろきませんでした。

もう一つおどろいたのは、ウィルソンビルでは自分のクラスがなりたいことにびくつき、なりたい日本のホームルームや日直の仕事がなく最後の授業が終わったら各自帰って良いことにおどろきました。

次に心に残ったことは、お店の人たちの対応がとても優しく、ウィルソンビルに行くまでは偏見で怖いイメージがあった不安があったのですが、行ってみるとお店の人、空港の人、ホストファミリーの人たちが、とても親切にしてくれてとてもうれしかったです。ホストファミリーにはとてもお世話になりました。毎日アクティビティが終わった後迎えに来てくれて、そのままたまご飯も食べて、とても楽しく過ごせました。私がホームステイした家には十一歳の女の子と二歳の男の子とネコが一匹いました。女の子は部屋を案内してくれたり、お店に連れて行ってくれたりして、男の子とは毎日風船で遊んだりして、猫とはさわたり猫じゃらしで遊んだりしてとても楽しい時間を過ごしました。

私はこの研修を通してもっとウィルソンビルのことが知りたいと思いました。

また、機会があればウィルソンビルや他の英語がはなされていく国へ行って自分の語学力を伸ばしていきたいです。今回の研修

を通じて日本以外の文化にふれることができ、貴重な経験をすることができました。この経験を通じて今後の人生に役立っていきたいと思います。



喜多方市立第二中学校 一年 佐藤 奏凜



私は今回のウィルソンビルでの海外研修を通して気づいた事、驚いた事があります。

まず研修を通して気づいた事は、英語がうまく話せなくても相手は理解してくれて、英語でウィルソンビルの人達と会話ができるの不安でしたが、学校で習ったような簡単な単語で話しても伝わる事が分かりました。さらに、会話にジェスチャーを加える事によってもっと相手に伝わる事もわかりました。

次に研修を通して気づいた事は二つあります。一つ目は、ウィルソンビルの人々やホストファミリーがとても優しく接してくれて、私は研修を受けている最中に体調を崩してしまった時が、エリカさん達が親身になって私を気遣ってくれて、ホストファミリーも私のために薬を用意してくれたり、家族のように接してくれてとても嬉しかったです。

二つ目は、ホストファミリーが日本の文化

事です。例えば、靴を脱いで家に入ったり、箸を使って食べ物を食べたりなど日常的に日本の文化を使っている事に気づきました。最初は、日常で使うほど日本の文化を愛している事が分かりました。

最後に研修を通しての思い出は、ホストファミリーといっしょに過ごした時間です。私を受け入れてくれたホストファミリーに

は三人の子供がいました。その中で一番年下の女の子のノエルちゃんが好きでいつも側にいてくれました。お母さんは、おいしい料理を毎日作ってくれて、お父さんは色々な所に連れて行ってくれました。本家の家族のように接してくれて、嬉しかったです。

私はこの研修を通してウィルソンビルの文化や人々のあたたかさに触れることができました。この研修で学んだことを今後の生活に活かしていきたいと思っています。

喜多方市立第二中学校 三年 清水 つぐみ

私がウィルソンビル短期研修に参加しようと思ったのは、今回一緒に参加した庄司瑞姫ちゃんが「ウィルソンビル一緒に行かない？」と誘ってくれたからです。その言葉がなかったら、この短期研修に参加してなかったと思います。私がウィルソンビル短期研修で学んだことは、二つあります。

まず一つ目は、外国の方たちのやさしさです。私が思っていたア



メリカは、「怖い」と言うイメージでした。不愛想で、ホームレスの人たちがいたりなど、治安が悪いというマイナスのイメージは



かりで、でも実際にお店などに行ったら、怖くはないと思う人はいません。怖い人より優しい人の方が多いと感じました。

例えば、道ですれ違った時や買い物に行ったときに、目があった人全員に「ニコ」としてもらえました。すごくうれしくて、フレンドリーだなと感じました。日本では目が合うとさらされてしまうので、ニコとされるのはとても新鮮でした。

二つ目は、英語を話すことが怖がらなくなってきたこと、英語を話さなくても大丈夫かなと不安ばかりでしたが、でも全然問題はありませんでした。自分の意見を伝えるために翻訳機はあった方がいいと思います。でもスマホで文字を打っている時間や距離が少し離れてしまったりと感がありました。自分の知っている英語を精一杯言葉に出してジャスチャーなどを使って伝えようとするのは外国人の人も理解してくれることがすごく分かりました。



喜多方市立第二中学校 三年 庄司 瑞姫



た。でも実際にお店などに行ったら、怖くはないと思う人はいません。怖い人より優しい人の方が多いと感じました。

例えば、道ですれ違った時や買い物に行ったときに、目があった人全員に「ニコ」としてもらえました。すごくうれしくて、フレンドリーだなと感じました。日本では目が合うとさらされてしまうので、ニコとされるのはとても新鮮でした。

二つ目は、英語を話すことが怖がらなくなってきたこと、英語を話さなくても大丈夫かなと不安ばかりでしたが、でも全然問題はありませんでした。自分の意見を伝えるために翻訳機はあった方がいいと思います。でもスマホで文字を打っている時間や距離が少し離れてしまったりと感がありました。自分の知っている英語を精一杯言葉に出してジャスチャーなどを使って伝えようとするのは外国人の人も理解してくれることがすごく分かりました。

たくさん体験をした中で、ウィルソンビル高校に訪問したことが楽しくて印象に残っています。

外国の文化に触れて、将来外国で暮らしてみたいと思うようになりました。この体験を将来に生かしていきたいです。行かせてくれた両親、交流協会の方たち、受け入れてくれたホストファミリーやウィルソンビルの方たちに感謝しています。

ウィルソンビル短期研修に参加できて本当に良かったです。



私がウィルソンビル短期研修に応募した理由は二つあります。一つ目は、私の姉が中二の時にウィルソンビルに行き、多くの思い出や経験を話しているところから、私も海外に行きたいという思いが強くなりました。

二つ目は、美しい自然の中で様々な事を学びながら、新しい自分を見つけたかったからです。ウィルソンビルには、自然や町の様子が自然と好きで、喜多方では味わえないことや、今まで知らなかったことを学ぶことができると思ったからです。実際に面接に合格していき行くと感じた時は、正直とても不安でしたが、でも、沢山の人がおかげで不安が少し消えていきました。私がとても心配していたことは、初めての飛行機、空港での検査、自分の英語が通じることが一番心配でしたが、初めての事ばかりで、心配はなかったです。ホストファミリーの家に着いた時は本当に安心して初日は



すぐに寝てしまいました。ホストファミリーの方も私たちに優しく接してくれたり、困った事があればすぐに分かりやすく説明してくれたので、本当に助かりました。

次の日から予定が沢山あってとてもおもしろかったです。楽しい日程ばかりで一日があつという間に過ぎていってしまっていて時間が止まってほしかったです。一番楽しかった日は、高校に行つた日です。将来、絶対にまたウィルソンビルに行きます。

す。みんな優しくとてもフレンドリーに話しかけてくれたので、すぐに友達になりました。今年の夏に来る予定の子達とも仲良くなれたので早くみんなに会いたいです。高校が終わってからは、ボーリングをしたのも楽しかったです。やっぱり海外はとにもにぎやかで楽しい場所だなと改めて思いました。

最後に、私はウィルソンビルの研修に行つて沢山自分がしたい事や思い出ができて本当にうれしかったです。この研修の経験を生かして今後の人生に生かしていきたいです。将来、絶対にまたウィルソンビルに行きます。

喜多方市立第二中学校
三年室井陽人

僕はウィルソンビルに行っているんだけど、いろいろなことをして、いろいろなことを学びました。そして、僕はこの交換留学でいろいろなことを知りました。

僕は自分のレベルの英語がどれだけ通用するか、また異国の人とたくさん話をしたい、学びたいと思って交換留学に行きました。そこで僕は驚きました。アメリカ人はみんな親切だということ。アメリカ人からしたら日本人が外国人で驚いたと思います。ですがとても親身になって会話をしてくれました。特にエリカさん、デイブさん、アンドレアさんはいろいろなレクリエーションでたくさんお世話になりました。日本食が大好きか、バスケットボールが大好きか、それは誰が好きかなど、そして日常会話などたくさん話すことができました。しかもデイブさんが「あなたの

英語は上手だ」と言ってくれた時はとても嬉しかったです。中学生、高校生の人たちが全員フレンドリーでとても楽しい時間を過ごすことができました。中学校ではバドミントンやバスケットをしてすごいです。高校ではUNOやボーリングをしたりたくさんの人と話すごうできてとても楽しく、自分に自信ができました。また高校ではチャリティーに会いまわりました。忘れられていて悲しかったので、ただ思い出してくれてまた会おうと約束しました。

またウィルソンビル、ポートランドは全部規格外で驚きました。うちのイルミネーションはすごいキラキラしていて、クリスマスツリーにも、ものすごい量のデコレーションをしました。また学校やショッピングモールの規模も大きかったです。中学では



食堂が大きいと思っていましたが、高校、大学ではトレーニングルームがあったり、体育館が2つあったりしないほど大きく驚きました。ポーター家ではリーグの試合に見に行ったり、ショッピングに行ったり、いろいろな土産を買ったり、いろいろなお世話になりました。来年が楽しみです。



僕は僕たちを受け入れてくれたウィルソンビル市が大好きです。

喜多方市立塩川中学校
二年五十嵐一姫

私は、今回のウィルソンビル市への十一日間の短期研修で色々なことを体験することができました。中でも特に印象に残ったことがいくつかあります。



まずは、アメリカの学校の自由さです。学校では中学校も高校も関係なく皆が私服で登校しています。また、スペイン語の授業を見学させてくれたとき、急に先生が授業中にゲームを始めるとも驚きました。ですが「先輩方の報告記に書いてあったのはこのことか」と少し嬉しくもなりました。

次に驚いたのは日本ではあまり見られないものについてです。とても



り場も日本とは大きく異なっており、日本が野菜をパッケージで包んで売ることに対して、アメリカでは直に野菜が山積みになって売られています。日本ではこのような売り方はすることがないのですが、これもまた新鮮で面白かったです。今回の研修を通して、会話や交流の大切さをより一層学ぶことができました。言葉や文化が異なる人々とも、積極的にコミュニケーションを取り、互いを尊重すること、より仲良くなること、ができることも勉強になりました。

喜多方市立塩川中学校
二年福地咲来

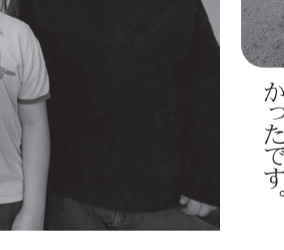
私はウィルソンビルに行き、初めて見たものや知ったことがたくさんありました。まず、飛行機です。今回初めての海外だったのでとてもワクワクしました。パスポートやお金の両替でトラ



ブルが起ころなかったのよかったです。ウィルソンビルに着き、ホストファミリーと直接会うとき、とても緊張しましたが早速人気のハンバーガー店で夕食を食べました。ご飯を食べるのが遅い私を笑顔で待つ

強くなりました。しかし、英語で言葉を伝えるという事はものすごく難しく、一緒に同じホストファミリーのところ泊まっていた、年上の先輩に助けをもらいながらも、伝えたいことがうまく伝えられず、もどかしい思いをしました。その上でこの経験を活かし、英語の勉強にさらに力を入れていきたいと考えています。

また、今回の研修で得た経験を、周囲の人々と共有し、国際交流の輪を広げていきたいです。



今回のウィルソンビル市短期研修は私にとって初めての海外、ホームステイで期待と不安が胸がいっぱいでした。ウィルソンビルにつくと、ホストファミリーの皆さんが笑顔で暖かく迎えてくれて、不安だった気持ちが和らぎました。毎日おいしいごはんを用意してくれたら、街のクリスマスの装飾を見させてくれたりして、とてもうれしかったです。感謝の気持ちでいっぱい

です。アメリカでの生活は毎日新しい体験の連続でした。特に心に残ったことは、学校です。アメリカの学校は施設の規模が大きく、学校の中に、コンサートや劇などができるホールがあることに驚きました。生徒のみんなはとても親しみやすく、友達がたくさんできてうれしかったです。

アメリカでの生活は毎日新しい体験の連続でした。特に心に残ったことは、学校です。アメリカの学校は施設の規模が大きく、学校の中に、コンサートや劇などができるホールがあることに驚きました。生徒のみんなはとても親しみやすく、友達がたくさんできてうれしかったです。



ました。夜には誕生日ケーキとプレゼントをもらいました。プレゼントは、私の好きなものばかりで本当にうれしかったです。たくさんの人が祝ってくれて、一生忘れられない最高の誕生日になりました。



今回の研修を通して、自主性と勇気をもって挑戦することの大切さに気づきました。この研修に参加し、自分の物事の考え方が広がりました。かけがえのない思い出もできました。これからも様々なことに挑戦し、自主性と勇気をもって生活していきたいです。

喜多方市立塩川中学校
三年五十嵐莉珠

今回のウィルソンビル市短期研修は私にとって初めての海外、ホームステイで期待と不安が胸がいっぱいでした。ウィルソンビルにつくと、ホストファミリーの皆さんが笑顔で暖かく迎えてくれて、不安だった気持ちが和らぎました。毎日おいしいごはんを用意してくれたら、街のクリスマスの装飾を見させてくれたりして、とてもうれしかったです。感謝の気持ちでいっぱい

です。アメリカでの生活は毎日新しい体験の連続でした。特に心に残ったことは、学校です。アメリカの学校は施設の規模が大きく、学校の中に、コンサートや劇などができるホールがあることに驚きました。生徒のみんなはとても親しみやすく、友達がたくさんできてうれしかったです。



国際交流協会の皆さん、共に研修に参加した仲間達、暖かく受け入れてくれたウィルソンビル市の方々、本当にありがとうございました。

今回のウィルソンビル市短期研修は私にとって初めての海外、ホームステイで期待と不安が胸がいっぱいでした。ウィルソンビルにつくと、ホストファミリーの皆さんが笑顔で暖かく迎えてくれて、不安だった気持ちが和らぎました。毎日おいしいごはんを用意してくれたら、街のクリスマスの装飾を見させてくれたりして、とてもうれしかったです。感謝の気持ちでいっぱい



今回の研修を通して、自主性と勇気をもって挑戦することの大切さに気づきました。この研修に参加し、自分の物事の考え方が広がりました。かけがえのない思い出もできました。これからも様々なことに挑戦し、自主性と勇気をもって生活していきたいです。

喜多方市立塩川中学校
三年 武藤 ひかり

私は留学するまでの間ずっと全ての事に對しての不安がつづいていました。海外にも行った事もない、海外の人とも会話をするのはほぼ初めてで自分にとっては留学というのとはとても大きなチャレンジでした。ですが始まってしまえばウィルソンビルで過ごす日々は瞬でした。まず、アメリカに着いた時、空港の職員の



オレゴン州の自然の豊かさにとっても感動しました。三日目には市役所の皆さんと交流をしました。海外の方々のフランス語に交流を行う姿に日本の違いを感じました。また皆さんのウィルソンビルに対する愛が大きすぎて驚かされた。四日目は中学校へ行



きベアの子と一緒に活動しました。中学校の皆は私に優しく接してくれて言語が異なっても人と人はつながれるのだと感じました。五日目には高校へ行き半日ほど活動しました。日本語のクラスをとっている方ともコミュニケーションをとることができて互いに刺激をうけました。五日目と六日目は美術館へ行きました。日本で見ることの出来ない作品をたくさん見て、楽しい体験をする

事ができました。最終日になるとホストファミリーと別れを惜しみました。二人としたハグは一生忘れられません。今回の留学で学んだ事は何事も感謝を忘れず積極的に行動する事の大切さです。それは私と関わって下さった全ての人がとても温かかったからです。これから人達への感謝を忘れず、もらった活力を胸に頑張っていきたいと思っています。



喜多方市立高郷中学校
二年 高野 葵衣

わたしは、このウィルソンビル研修を通して皆さんの人との出会いを通して、これからわたしが人と関わっていく際の大事なことを知れました。わたしが気づいたことは三つありました。一つ目は、だれでも気軽に話せること



さがあるのかなと思いましたが、二つ目は、人を褒めるということ。アメリカの人たちはどんなことでも褒めてくれました。服や自分がかつてのペットなどまだ会って一日も経たないのに親しくしてほめてくれることが多かったです。通りがかった人などどんな人でも褒めると言うアメリカの文化が好きです。

三つ目は、人を愛することです。私は十二月十二日にシエイクシャークでウィルソンビルのエリカさんとお話ししました。その時しかお話ししなかったのにとても良いお人柄だなと思いました。きつとどんな人でも愛する、大切にしている

のではないかと思いましたが、私もエリカさんのように人を愛すと言うことを大切にしたいです。自分の苦手な人でも「その人の考え方や性格である」と認めて、人を大事にすることを心がけたいと思いました。私がこれからの人生を生きていく上でた



福島県立会津学鳳中学校
三年 阿部 千鶴子



リカにあると知れて嬉しくなりました。さらに、写真でしか見たことのなかった広い道路や大きな空の景色を実際に目にしたときは、本当にアメリカにきたのだという実感が湧き、息をのむほど感動した。マルトノマ滝という滝を見に行ったのだが、油絵で描いた滝だと知ったときは驚いた。近くに行くと雄大な自然を感じられてとても良い経験となった。

最後にはホストファミリーの方達からアルバムを頂き、嬉しくて泣いてしまった。この研修を通して、言葉が完璧でなくても気持ちちは通じることが学んだ。笑顔やあいさつの力の大きさも感じた。帰国後は、この経験を生かして、英語の勉強を続けるだけでなく、日本に

私はアメリカのオレゴン州ウィルソンビル市での研修に参加し、ホームステイや学校訪問、市役所見学などを通して多くの事を学んだ。今回の研修の目的は、海外の文化や生活に直接ふれる自分の世界を広げることや姉妹都市の代表として交流することだと考えていたが、実際に現地ですぐに中々、思っていたよりずつとそれらを強く実感することができた。また施設の大きさにも驚いた。スーパーの商品や学校の体育館、市役所の建物など、日本とのスケールの違いを実際に体験した。食べ物では、明るい色でデコレーションされたドーナツを食べたことが特に印象的だった。見た瞬間「本当にこんな奇抜なものがあるのか」と思っていたが、普通な色だった。普通な美味いドーナツであった。そのほかにも



会津若松ザベリ才学園中学校
三年 小澤 りお



この十一日間の短期研修は、私にとってとても大きな人生経験となりました。まず、研修に参加させてくれた両親と研修に行くためにご尽力いただいた国際交流協会の皆さん、ホームステイ先のホールの皆さんに感謝をしたいです。ありがとうございました。初日、これからアメリカに行くという実感がまだなく、フライトや現地での生活の

不安が大きかったですが、ロサンゼルス空港に降りた瞬間、日本とは異なる風景や人々を見てアメリカにきたという実感が湧き、楽しさと好奇心が溢れてきました。これからアメリカの日常生活を体験できる喜びをみしめてウィルソンビル市に向かいました。ホストファミリーは、とても優しく、家族の温かさを感じることができました。食事の違いやお互いの家族のことをたくさん英語で話すことができました。夕食後には、シヨッピングやメキシコ料理のレストランに連れて行ってもらった。休日には、ピトック邸や日本庭園に行

